



並木中等story

令和5年3月1日号

3月1日に実施した卒業式での校長式辞の抜粋です。

暖かな日差しに春を感じられる季節となりました。本日ここに多くの来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和4年度卒業証書授与式を挙行できますことは、私たち教職員一同この上ない喜びでございます。また、今日までお子様を慈しみ、育ててこられました保護者の皆様には心よりお祝い申し上げます。

6年次生の皆さん、茨城県立並木中等教育学校の全課程の終了、そして、ご卒業、おめでとうございます。皆さんは多くの人に支えられて、卒業を迎えました。きっと皆さんを支えてくれたすべての人が、皆さんの卒業を喜んでいることと思います。支えがあったから今が有ること、感謝の気持ちを忘れないでください。

ここで、皆さんに託したいこととお話したいと思います。

並木中等教育学校は県から、日本そして世界のリーダーを育成して欲しいということで設けられた学校です。課題探究、アクティブ・ラーニング、ICT機器を活用した授業など皆さんは6年間、他校より進んだ教育を受けてきました。

そこで、皆さんには、「私がやらないで誰がやるんだ。」という心意気で、日本、いや世界を牽引してほしいのです。ちょっと考えてください。本校のあるつくば地域には、最先端の内容を研究する施設や大学が数多くあります。一定の地域にこれだけの研究所等が集まっているところはそうありません。皆さんは、この地の利を活かして、多くの学者や研究員の方々から、直接又は間接的にいろいろなことを学びました。また、SSHの活動を通して、トップクラスの探究方法も身につけました。これまでの体験、経験に自信を持ってください。

今は、VUCA ワールドで、新型コロナウイルス、ウクライナ侵攻、地球温暖化など多くの解決する課題があります。「誰かが解決すればいい。」では困ります。自ら課題を見つけ、「私がやらないで、誰がやる。」との姿勢で取り組んでもらいたいのです。

最後になりますが、保護者の皆様にはこの6年間、お子様を励まし支えていただくとともに本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。私ども職員一同、微力ながら生徒一人一人のことを思い、指導に当たってきましたが、地域や保護者の方々のご協力により、なしえたことも数多くあり、心より感謝しております。

6年次生の皆さん、この3年間は新型コロナウイルス関連などで行事の削減や縮小があり、皆さんには残念な思いをさせていただきましたが、例年にはない新たな思い出をつくることができました。ありがとうございました。皆さんの前途が幸せで満ちあふれるものになることを祈念いたしまして、式辞といたします。